

(別紙5)

補助事業番号 26-1-051  
補助事業名 平成26年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 放送人の会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本、韓国、中国3カ国のテレビ番組制作者一堂に会し、各国の参加作品の鑑賞や質疑応答、シンポジウム等の交流を行い、共同制作を促し、番組制作力を発展させるなど、各国の放送文化の向上を図り、相互理解、文化交流を促進することを目的とする。今回は、特に開催地横浜（2014年日中韓3国における東アジア文化都市事業の第1回国内指定都市に選ばれた）の一般市民が参加可能な番組鑑賞会、シンポジウムも併せ行うなど、各国の番組制作者と市民たちのより広範な相互理解を促進させ、もって公益の増進にも寄与する。

### (2) 実施内容

日韓中テレビ制作者フォーラムin横浜

([http://www.hosojin.com/pdf/forum\\_gaiyou.pdf](http://www.hosojin.com/pdf/forum_gaiyou.pdf))

日韓中のテレビ制作者が毎回テーマを設定し、互いの国の作品を試写鑑賞、質疑応答やシンポジウムを通じて、番組制作への取り組み、各国視聴者の視聴の仕方等に共通認識を持ち、放送人同士の理解や交流を深め、結果としてアジアの放送文化の向上を目指す。またこのフォーラムには、横浜市民の皆さんが、多数傍聴参加した。



(別紙5)



(別紙5)



## 2 予想される事業実施効果

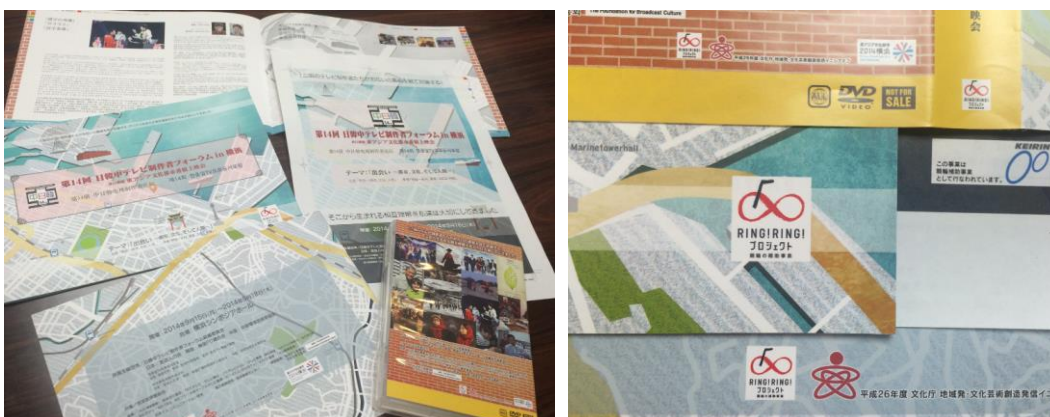
今回試写された番組のテーマは「出会い～都市、文化、そして人間～」であった。三国の秀作について、各国の参加者による活発な議論がなされ、改めて三国における放送事情の確認、お互いの市民感情や、認識の違いもまた確認できた。これらを確認できたのも、これまでのこの試みの積み重ねによる、参加者による忌憚のない意見の交換が当たり前なものとなったからである。

三国の放送関係者における共通理解の醸成、友好の促進に加え、今回特筆すべきなのは、多くの市民が番組に接し、参加者の議論を目の当たりにしたことである。視聴者・市民のメディアリテラシーに関しても、今回の横浜大会は大きな効果を得たものと思う。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

チラシ、パンフレット、DVD 他



### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの 該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人 放送人の会（ホウソウジンノカイ）

住 所： 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町1-1千代田放送会館3階

代 表 者： 会長 今野 勉（コンノ ツトム）

担 当 部 署：

担 当 者 名： 理事（事業委員長） 渡辺 紘史（ワタナベ ヒロシ）

電 話 番 号： 03-3221-0019

F A X： 03-3221-0019

E - m a i l： [info@hosojin.com](mailto:info@hosojin.com)

U R L： <http://www.hosojin.com/>